

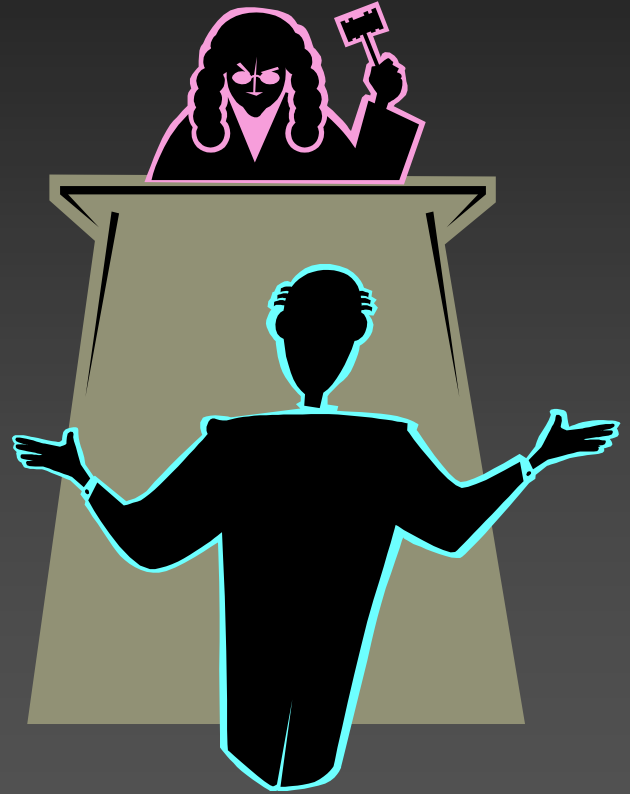
法科大学院特別授業

法廷映画から学ぶ刑事訴訟

名作シリーズ
第3弾

「それでもボクはやってない」

朝の通勤ラッシュで大混雑する電車内、フリーターの金子徹平は女子中学生から“痴漢”と叫ばれた。無実の罪で逮捕された青年が、疑いをはらすために戦う姿とともに、自白を強要する警察と検察、そして「疑わしきは罰す」という裁判所の姿勢が赤裸々に描かれている問題作。2007年の公開当時、大きな話題を呼びました。映画を鑑賞した後、皆で一緒に日本の刑事裁判について考えてみましょう。



開催日時

平成26年4月23日(水)
13:00~16:30

場所

渋谷キャンパス百周年記念館
地下1階L101教室

出席者

司会	：今井 秀智	國學院大學法科大学院教授・弁護士
パネリスト	：四宮 啓	國學院大學法科大学院教授・弁護士
	高内 寿夫	國學院大學法科大学院教授

* 入場無料・予約不要 *

 國學院大學法科大学院

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

Tel 03-5466-0492

HP <http://www.kokugakuin.ac.jp/lawschool>

〈映画紹介〉

フリーターの金子徹平は、朝の通勤ラッシュで大混雑する電車で、女子中学生に痴漢と間違えられてしまう。無実の罪を被って示談で済ませるという妥協案を拒んだ徹平は、逮捕され、更には起訴されることとなる。そして、長い戦いの幕があく。

監督：周防 正行

主演：加瀬 亮

143分